

## 王としてお生まれになったキリスト

## ルカ 2章 1節～20節

- 1節 そのころ、全世界の住民登録をせよとの勅令が、皇帝アウグストゥスから出た。
- 2節 これは、キリニウスがシリアの総督であったときの、最初の住民登録であった。
- 3節 人々はみな登録のために、それぞれ自分の町に帰って行った。
- 4節 ヨセフも、ダビデの家に属し、その血筋であったので、ガリラヤの町ナザレから、ユダヤのベツレヘムというダビデの町へ上って行った。
- 5節 身重になっていた、いいなずけの妻マリアとともに登録するためであった。
- 6節 ところが、彼らがそこにいる間に、マリアは月が満ちて、
- 7節 男子の初子を産んだ。そして、その子を布にくるんで飼葉桶に寝かせた。宿屋には彼らのいる場所がなかったからである。 注：野外の洞窟、家畜の避難場所・遺体の収容

- 8節 さて、その地方で、羊飼いたちが野宿をしながら、羊の群れの夜番をしていた。
- 9節 すると、主の使いが彼らのところに来て、主の栄光が周りを照らしたので、彼らは非常に恐れた。
- 10節 御使いは彼らに言った。「恐れることはありません。見なさい。私は、この民全体に与えられる、大きな喜びを告げ知らせます。
- 11節 今日ダビデの町で、あなたがたのために救い主がお生まれになりました。この方こそ主キリストです。注：救い主＝救助者（敵や苦難から）、キリスト＝油注がれた者（王）
- 12節 あなたがたは、布にくるまって飼葉桶に寝ているみどりごを見つけます。それが、あなたがたのためのしるしです。注：羊飼いは、飼葉桶のある洞窟の場所に詳しい
- 13節 すると突然、その御使いと一緒におびたしい数の天の軍勢が現れて、神を賛美した。
- 14節 「いと高き所で、栄光が神にあるように。地の上で、平和が、みこころにかなう人々にあるように。」 注：預言 イザヤ 9：6～7、詩篇 24：3～10

- 15節 御使いたちが彼らから離れて天に帰ったとき、羊飼いたちは話し合った。「さあ、ベツレヘムまで行って、主が私たちに知らせてくださったこの出来事を見届けて来よう。」
- 16節 そして、急いで行って、マリアとヨセフと、飼葉桶に寝かされているみどりごを捜し当てた。
- 17節 それを目にして羊飼いたちは、この幼子について自分たちに告げられたことを知らせた。
- 18節 聞いた人たちはみな、羊飼いたちが話したことに驚いた。
- 19節 しかしマリアは、これらのことをすべて心に納めて、思いを巡らしていた。
- 20節 羊飼いたちは、見聞きしたことがすべて御使いの話のとおりだったので、神をあがめ、賛美しながら帰って行った。

【イエスが生まれて、1年から2年の年月が過ぎて】

### マタイ 2章 1節～16節

1節 イエスがヘロデ王の時代に、ユダヤのベツレヘムでお生まれになったとき、見よ、東の方から博士たちがエルサレムにやって来て、こう言った。

2節 「ユダヤ人の王としてお生まれになった方は、どこにおられますか。私たちはその方の星が昇るのを見たので、礼拝するために来ました。」 注：預言 民数記 24：17

---

3節 これを聞いてヘロデ王は動揺した。エルサレム中の人々も王と同じであった。

4節 王は民の祭司長たち、律法学者たちをみな集め、キリストはどこで生まれるのかと問いただした。

5節 彼らは王に言った。「ユダヤのベツレヘムです。預言者によってこう書かれています。

6節 『ユダの地、ベツレヘムよ、あなたはユダを治める者たちの中で、決して一番小さくはない。あなたから治める者が出て、わたしの民イスラエルを牧するからである。』

7節 そこでヘロデは博士たちをひそかに呼んで、彼らから、星が現れた時期について詳しく聞いた。

8節 そして、「行って幼子について詳しく調べ、見つけたら知らせてもらいたい。私も行って拝むから。」と言って、彼らをベツレヘムに送り出した。

---

9節 博士たちは、王の言ったことを聞いて出て行った。すると見よ、かつて昇るのを見たあの星が、彼らの先に立って進み、ついに幼子のいるところまで来て、その上にとどまった。

10節 その星を見て、彼らはこの上もなく喜んだ。

11節 それから家に入り、母マリアとともにいる幼子を見、ひれ伏して礼拝した。そして宝の箱を開けて、黄金、乳香、没薬を贈り物として献げた。注：洞窟ではなく、家

12節 彼らは夢で、ヘロデのところへ戻らないようにと警告されたので、別の道から自分の国に帰って行った。

---

13節 彼らが帰って行くと、見よ、主の使いが夢でヨセフに現れて言った。「立って幼子とその母を連れてエジプトへ逃げなさい。そして、私が知らせるまで、そこにいなさい。ヘロデがこの幼子を探し出して殺そうとしています。」

14節 そこで、ヨセフは立って、夜のうちに幼子とその母を連れてエジプトに逃れ、

15節 ヘロデが死ぬまでそこにいた。・・・

16節 ヘロデは、・・・博士たちから詳しく聞いていた時期に基づいて、ベツレヘムとその周辺一帯の二歳以下の男の子をみな殺させた。

預言 民数記 24 : 17

私には彼が見える。しかし今のことではない。  
 私は彼を見つめる。しかし近くのことではない。  
 ヤコブから一つの星が進み出る（上る）。  
 イスラエルから一本の杖が起こり、モアブのこめかみを、  
 すべてセツの子らの脳天を打ち砕く。

預言 イザヤ 9 : 6~7

ひとりのみどりごが私たちのために生まれる。  
 ひとりの男の子が私たちに与えられる。  
 主権はその肩にあり、その名は「不思議な助言者、力ある神、  
 永遠の父、平和の君」と呼ばれる。  
 その主権は増し加わり、その平和は限りなく、  
 ダビデの王座に就いて、その王国を治め、  
 さばきと正義によってこれを堅く立て、これを支える。  
 今よりとこしえまで。万軍の主の熱心がこれを成し遂げる。

預言 詩篇 24 : 3~10

だれが 主の山に登り得るのか。  
 だれが 聖なる御前に立てるのか。  
 手がきよく 心の澄んだ人  
 そのたましいを むなしなものに向けず  
 偽りの誓いをしない人（しなかった人）。  
 その人は 主から祝福を（受け）  
 自分の救いの神から義を受ける（であろう）。

波線部  ナウサウ  
 上げる 向ける  
 受ける 与える

ひとりの人=メシア

これこそヤコブの一族。  
 神を求める者たち  
 あなたの御顔を慕い求める人々である。

これは、彼の求める者たちの世代  
 あなたの御顔を求める者たち  
 おお ヤコブよ（イスラエルの民）

上げよ 門よ おまえたちの頭を、上がれ 永遠の戸よ  
 栄光の王が入って来られる、栄光の王とはだれか  
 強く力ある主 戦いに力ある主  
 上げよ 門よ おまえたちの頭を、上がれ 永遠の戸よ  
 栄光の王が入って来られる。栄光の王 それはだれか  
 万軍の主 この方こそ栄光の王

栄光の王=メシア

メシアは、  
 神、主である